

☆ベイズ統計学とは何かをわかりやすく解説し、一般的な統計学との違い、ベイズ統計学の使いどころがわかる事例も紹介します。

基礎から学ぶベイズ統計学と実用例

- ◆日時:2019年6月18日(火) 10:30~16:30
- ◆会場:商工情報センター 9F 会議室
- ◆聴講料:1名につき49,980円(税込、昼食・資料付)

⇒1名につき32,400円(税込、昼食・資料付き)
2名以上で申込の場合、1名につき21,600円

講師からの紹介割引について

本パンフレットは講師用のパンフレットです。このパンフレットでセミナーをお申込みいただくと、講師からのご紹介により左記のとおり受講料が割引になります。なお他の割引との併用はできません。

●講師: (株)エフビズ 代表取締役 青木 義充 氏

【講座の趣旨】

データの解析をしている際に、「データ以外の情報を利用した解析をしたい」と思ったことはありませんか?そもそもデータ解析の目的が、客観的な解析をしたいというものであるならば、データ以外の情報を利用することに懐疑的になるかもしれません。たしかに、一般的な統計学の手法では、得られたデータから、その背後に潜む構造を推測する形式がとられています。つまり、推測時に利用できる情報はデータのみといってしまうでしょう。その一方で、ベイズ統計学では、データから得られる情報だけでなく、事前に知っていた情報(主観的に設定した情報)を利用して推測していきます。本講演では、ベイズ統計学の考え方を学ぶことにより、一般的な統計学の手法との違いを意識しながら、データとそれ以外の情報を組み合わせた推論方法を習得することができます。

また、ベイズ統計学を学んだことのある方の中には、手法について理解はできたが、実際にどのように用いればよいか分からない方もいらっしゃるかもしれません。特に、一般的な統計学の手法でも十分に扱える問題では、せっかく学んだベイズ統計学を活用する機会もないことでしょう。本講演では、ベイズ統計学の特徴が活かされる事例を取り扱うため、ベイズ統計学の使いどころがはっきりと理解できるようになるでしょう。

【受講対象】

- ・ベイズ統計学を基礎から学びたい方
- ・ベイズ的アプローチに興味がある方、一般的なアプローチとの違いを知りたい方
- ・データ解析の実務に携わっている方
社会人だけでなく、大学院生など学生の方でも問題ありません。

【必要な予備知識】

データ解析に興味を持たれている方であれば、特に予備知識は必要ございません。

【習得できる知識】

ベイズ統計学の考え方が分かり、一般的な統計学の手法との違いが分かるようになる。
ベイズ統計学での推論の進め方(ベイズ的アプローチ)の考え方を学ぶことで、データ以外の情報を利用した解析手法を習得できるようになります。

【プログラム】

1. ベイズ統計学の考え方
 - 1-1. ベイズ統計学の考え方
 - 1-2. 条件付確率とベイズの定理
 - 1-3. 事前情報とデータによる情報
2. マルコフ連鎖モンテカルロ法(MCMC法)
 - 2-1. ベイズ統計学における推定手法の考え方
 - 2-2. マルコフ連鎖モンテカルロ法(MCMC法)の考え方
 - 2-3. ギブスサンプラーとそのアルゴリズム
3. データ拡大法
 - 3-1. データ拡大法の考え方
 - 3-2. 打ち切りなどの不完全な観測データへの応用
 - 3-3. データ拡大法のアルゴリズム

【質疑応答・名刺交換】

(講師紹介割引)『ベイズ統計学』セミナー申込書 FAX:03-5857-4812

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、弊社へFAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本にお受けしていませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送